

# いつまでも元気で過ごしてください



▲賀寿を受け取る横田忠義さん

佐藤ノブさん、横田忠義さん、箭内チヨノさんに百歳賀寿贈呈  
▼12月29日に満百歳を迎えられた佐藤ノブさん（船引町春山）。

県中保健福祉事務所の津田副所長から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。

また、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、船引町老人クラブ連合会から賀寿と祝金、さらに県遺族会からも賀寿が贈られました。

当日は、ノブさんが都合により、急に出席できなくなったため、ご家族による代理受領となりました。ノブさんは贈呈式をとても楽しみにしていたとのこと、ご家族は、早速報告しなくてはと話していました。



▲賀寿を受け取る箭内チヨノさん

横田忠義さん  
▼1月10日に満百歳を迎えられた横田忠義さん（大越町上大越）。

県中保健福祉事務所の津田副所長から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。

品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。  
また、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、大越町老人クラブ連合会、白山老人クラブからそれぞれ賀寿と祝金が贈られました。  
忠義さんは、95歳ごろまで自転車に乗り、畑仕事をするなど大変お元気で終始にこやかに賀寿等を受け取っていました。  
忠義さんの長生きの秘訣は「好き嫌いなく三食食べ、食事の時に自分で作った梅酒、柿酢を飲むこと」だそうです。

## 箭内チヨノさん

▼2月1日に満百歳を迎えられた箭内チヨノさん（船引町船引）。

県中保健福祉事務所の津田副所長から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。

また、市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会、船引町老人クラブ連合会、下里老人クラブから賀寿や祝金が、さ

らに下里地区からも祝金が贈られました。  
チヨノさんは、大変お元気で終始にこやかに賀寿等を受け取っていました。また、現在孫22人、ひ孫42人に加え玄孫もいるようで、大勢に囲まれうれしそうでした。  
チヨノさんの長生きの秘訣は「好き嫌いなく何でも食べること」だそうです。



▲熱唱する鳥羽さん（右）と山川さん（左）

## 鳥羽一郎&山川豊ジョイントコンサート ～兄弟演歌～ 一流歌手の歌声を堪能

市文化センターで1月20日に行われました。  
昼・夜の2回公演で、約1300人が来場。  
兄の鳥羽一郎さんと弟の山川豊さんの歌あり楽しいお話しありの内容で、客席からは大きな笑い、そして惜しみない拍手と歓声が送られました。

# 長年にわたり文化の継承発展に貢献



▲受賞の報告をする鈴木さん

船引地方史研究会（会長鈴木明男さん）が、県文化振興基金顕彰団体（郷土史誌部門）に選ばれ、2月14日にホテルサンルートプラザ福島（福島市）で表彰を受けました。  
県文化振興基金顕彰は、美術や音楽、文学などの10分野で、県の文化振興に貢献した個人や団体をたたえ表彰されるもので、今年度は5人2団体に贈られています。

船引地方史研究会は昭和44年に結成。昭和52年から発行している「船引地方史研究」は15号を数えます。  
船引町を中心とした地域の歴史を明らかにし、地域文化の継承発展に尽力していることが評価されました。  
同日、鈴木会長が市役所・市教育委員会を訪れ、富塚市長、佐藤教育長へ受賞の喜びを報告しました。

## 畑中大神楽（滝根町）が市指定文化財に 未来へ引き継ぐ伝統文化



▲畑中大神楽保存会の皆さん

市教育委員会ではこのたび、滝根町菅谷地区に所在する「畑中大神楽」を市無形民俗文化財として新たに指定しました。  
これで、市指定文化財は112件となりました。

## 畑中大神楽

（滝根町菅谷字畑中地内）畑中大神楽とも呼ばれる獅子神楽で、菅谷神社の元朝祭で奉納されている。伝承では天保期（1830）1843年の大飢饉の時に、無病息災、五穀豊穡を願い、行ったことが始まりとされ、天保12（1841）年銘の記録も残ります。  
たびたび荒廃が繰り返されるも、昭和53年に畑中若連会が中心となって復活しました。  
以来保存会が地元の貴重な民俗芸能の継承に積極的に取り組んでいることから、今後も確かな継承が見込めるものです。

# ワクワクン接種と定期的な受診を



▲熱心に講演する桜井先生

子宮頸がん予防講演会  
船引公民館で子宮頸がん予防講演会を1月20日と1月30日の2日間開催しました。  
これは、2月1日から市内の中学1年生から高校1年生までの女子生徒を対象に子宮頸がん予防ワクチン接種を開始するにあたり、子宮頸がん予防に対する理解を深めてもらうためのものです。  
桜井産婦人科医院の桜井秀

先生が「思春期からは始める子宮頸がん予防く自分で守ろう自分のからだ」と題し、20〜30歳代の若い女性に子宮頸がんの発症が増えている現状や予防にはワクワクンの接種と定期的な子宮頸がん検診が有効なことなどをわかりやすく講演しました。  
講演会には、親子一緒に参加者も多く見られました。